

平成 24 年 6 月 4 日

公益社団法人土木学会
支部長 各位

公益社団法人土木学会 100 周年戦略会議
議長 次期会長 小野 武彦

土木学会 100 周年事業に係る御意見の募集について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、ご高承のとおり、本会は 2014 年に創立 100 周年を迎えます。本会は、この大きな節目に向けて、インフラを通じた社会への貢献、市民との交流、国際交流等の観点から、「100 周年事業」としてさまざまな事業を実施することを企画しています。100 周年事業の構成は、**資料 A**に示すとおりです。

100 周年事業のうち、本会本部もしくは支部が行うとりわけ重要な事業を、「100 周年記念事業」として重点的に推進します。

100 周年事業は、土木学会本部および支部が中心となって取り組む事業であり、学会全体で 100 周年事業を盛り上げていくためには、全ての委員会・支部の皆様のご協力が不可欠です。既に昨年 4 月に、事業のアイデアを学会内から募集いたしました。昨年度、100 周年戦略会議では、これらのアイデアをベースとして、事業全体の運営方法について議論を重ねて参りました。現時点においては、**資料 B**のような「100 周年記念事業」の案^注を考え、これを実現するための財源手当てについて検討しているところです。このたび、100 周年事業をよりよいものとするため、**資料 B**の事業（案）に対するご意見や、広く分野を横断する事業や将来につながる事業の新たなアイデアについて募集することといたしました。応募いただいたご意見を参考に、事業案について検討いたします。提案方法等は下記のとおりです。

敬具

記

1. 提案方法：**資料 B**の事業（案）に対するご意見がございましたら**別紙 1**に、広く分野を横断する事業や将来につながる事業の新たなアイデアがございましたら**別紙 2**に、記入例を参考にご記入いただき、E-mail、FAX または郵送にて下記宛にご提出ください。なお、疑問点は遠慮なくお問い合わせください。
2. 提出及びお問い合わせ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目（外濠公園内） 公益社団法人土木学会 調査役 山田 あて TEL：03-3355-3442 / FAX：03-5379-0125 E-mail：yamada@jsce.or.jp

3. 提出締切：平成 24 年 7 月 31 日（火）（土木学会必着）

注) **資料 B**に記載されている事業は、あくまで現時点の案であり、実施することが確定しているものではありません。皆様からのご意見、アイデアを参考に、再検討致します。また、財源手当ての可否その他の諸事情により変更・中止することがあります。

以上

100 周年事業の構成

100 周年事業は、図 1 のとおり、「本部事業」「支部事業」「学会員事業」「市民事業」で構成するものとする。

このうち、学会が主催・共催するのは「本部事業」「支部事業」であり、このうち特に重要な事業を「100 周年記念事業」と位置づける。「100 周年記念事業」に対しては予算措置を講ずる場合がある。また、学会員事業、市民事業への広がりを目指し、これらへの一部支援も検討する。

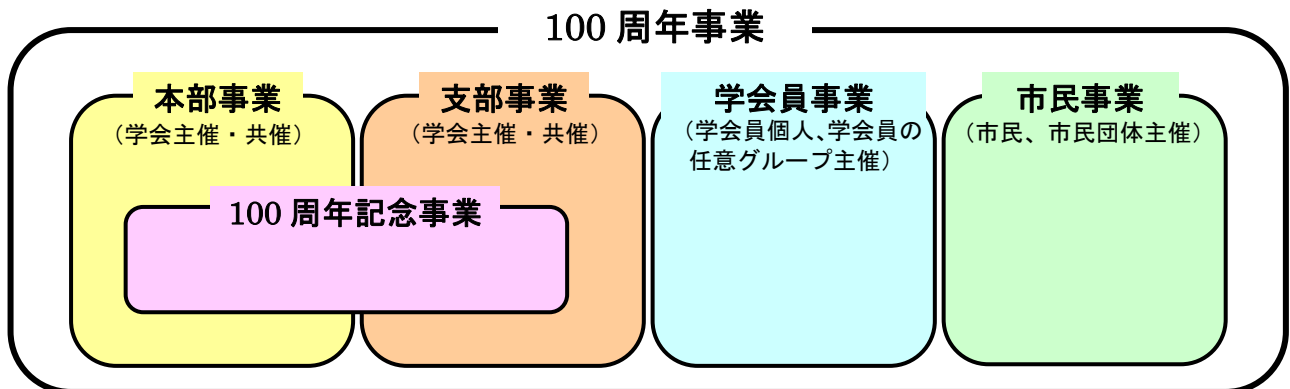


図 1 100 周年事業の構成

【100 周年事業】

表 1 の要件を満たす本部事業、支部事業、学会員事業、市民事業を 100 周年事業とする。100 周年事業は登録制とする。

100 周年事業として登録された事業では、100 周年ロゴを使用することができる。

【本部事業】

土木学会の本部に含まれる組織が主催・共催する表 1 の要件を満たす事業であり、従来から実施している事業、新規に意見募集する事業及び 100 周年戦略会議が中心となって新規に企画し実行委員会が実施する事業を本部事業とする。全国への情報発信、全国各地での開催など、土木学会全体で推進する事業としての性格を持つ。

ここでの「組織」とは、既存の組織のみならず、事業実施のために本部が設置した組織（例：100 周年戦略会議、特別委員会など）も含む。

場合によっては支部と連携を図るものも含む。

【支部事業】

土木学会の支部に含まれる組織が主催・共催する表 1 の要件を満たす事業であり、従来から実施している事業及び新規に意見募集する事業を支部事業とする。支部の独自性、地域性等を活かした事業としての性格を持つ。

ここでの「組織」とは既存の組織のみならず、事業実施のために支部が設置した組織も含む。

【100 周年記念事業】

本部事業、支部事業のうち、特に重要な事業。また、学会員事業、市民事業のうち、土木学会として今後の発展や水平展開を期待するものを支援する事業を 100 周年記念事業とする。

主に、分野横断的な内容や、全国規模で実施するような内容の事業等が該当する（選定基準は別途定める）。

事業によっては予算措置を講ずる場合がある。

【学会員事業】

学会員個人、もしくは学会員の任意グループが実施する活動の中で、表 1 の要件を満たし、かつ主催者が登録を希望するものを学会員事業とする。

【市民事業】

市民、市民団体が主催で実施する土木に関する活動の中で、表 1 の要件を満たし、かつ主催者が登録を希望するものを市民事業とする。

表 1 100 周年事業が満たすべき要件

観点	要件		
	本部事業・支部事業	学会員事業	市民事業
定款との整合性	土木学会定款に示す活動目的に沿ったものであること。	土木学会定款に示す活動目的に沿ったものであること。	—
実施方法	1. 地域性に配慮し、市民との関わりを考慮して運営されること。 2. (参考) 土木の日事業等との連携が好ましい。	1. 地域性に配慮し、市民との関わりを考慮して運営されること。	1. 広い意味で土木に関連する内容であること。 2. 特定の組織等の宣伝、PR 等にならないものであること。 3. 公序良俗に反しないものであること。
100 周年テーマ ¹ との整合性	1. 学会創立 100 周年にふさわしく、土木の原点に立脚するもの。 (1) 土木の功罪を科学的、客観的に捉え、社会にアピールできること (独善的、我田引水でないこと)。 2. 学会創立 100 周年にふさわしく、土木の将来に対する示唆を与えるもの。 (1) 市民が求める社会の実現に向けたベクトルをもつもの。 (2) 土木の役割の再認識に繋がるなど、会員にとって大きな意義を有するものであること。	1. 学会創立 100 周年にふさわしく、土木の原点に立脚するもの。 (1) 土木の功罪を科学的、客観的に捉え、社会にアピールできること (独善的、我田引水でないこと)。 2. 学会創立 100 周年にふさわしく、土木の将来に対する示唆を与えるもの。 (1) 市民が求める社会の実現に向けたベクトルをもつもの。 (2) 土木の役割の再認識に繋がるなど、会員にとって大きな意義を有するものであること。	—
実施時期	2012 年～2014 年	2014 年	2014 年

¹ 100 周年テーマ：事業全体の統一テーマは、100 周年戦略会議が設定する。現時点では「市民工学への回帰」。

は支部中心の事業

	事業名	事業内容	備考
応募された事業	津波・高潮の水位標識設置プロジェクト	津波・高潮の水位標識を市民・自治体・学校と協力して現地に設置し、土木学会が津波・高潮の説明、現地調査、作業を指導するもの	H23年4月に提案された事業案の中から幹事会で選択した事業
	「持続可能社会の形成に資するインフラ構造の長寿命化技術」に関する国際集会	持続可能社会の形成に貢献するインフラ構造の長寿命化技術に焦点を当て、これに関係する国内外の第一線の研究者による国際集会を開催し、ハード・ソフト両面から今後のインフラ構造の長寿命化技術の在り方を提言する。 国際集会の開催は2014年11月を予定	
	土木カフェ	街中のオープンな場所、カフェなどで土木側から一般の方や、マニアなどにテーマをもって交流する	
	英文論文集(第1号:東日本大震災)	日本土木技術の海外への情報発信	
幹事会が新規に提案する事業	社会安全研究会の取り組み「土木安全哲学」、「土木技術者の社会安全憲章」策定過程とその世の中への発信	土木技術者間での討論会あるいは市民との討論会、講演会、シンポジウム等	
	「安全な国土への再設計」支部連合プラットフォームの活動	土木学会の各支部が中心となり、各地域の被災実績や過去の知見を整理して、土木学会が国土のデザイナーとして安全な国土再設計統合化技術の方向性を示し、政府・自治体・地域・社会、市民の意識を啓発・高揚する道筋をつけるもの	
	安全問題研究会の取り組み、安全・安心・安定な社会づくりへのアプローチや地域継続計画(DCP)策定指針案作成	BCP関連の映像づくりや将来を担う子供たちへの「自分の身は自分で守る」意識の醸成支援・啓蒙活動等	
	JSCE2100ビジョン(仮称)シンポジウム	日本のみらい(2100年を目標)に貢献する土木の姿とそこで活躍する土木技術者のあり方、役割をJSCE2100ビジョン(仮称)としてとりまとめ(2012~2013年の2ヶ年を予定) シンポジウムにてビジョンを発表(2014年の記念式典前後に開催)	
	JSCE2100ビジョン(仮称)「みらいの土木技術コンテスト」	JSCE2100策定にあわせて、みらいの土木技術のアイデアを公募(主ターゲットは土木系大学生) 公募準備2012年 公募期間2013年6月~11月、6か月間 選定(2014年1月~3月) 外部有識者等による審査委員会にて審査し、最優秀1点、優秀5点を選定 表彰式・プレゼンを上記のJSCE2100シンポの一環として実施	
	土木ツアー	近代化遺産、地方の名物、美味しいものを組み合わせたツアー	
	土木ふれあいフェスタ	人びとが集まる場所へ出てゆき(商業施設などをかり)親子で楽しんでもらえる場所を提供する	現在までコンサルタント委員会主催
	2013年CECAR(インドネシア)にて100周年記念プレ事業としてスペシャルセッション	JSCE100周年記念に対するアナウンス、日本土木史の100年間等	
	2014年 100周年記念国際会議	100周年記念式典(11月東京?)または全国大会(9月関西)に併せて①記念講演会②拡大RTM③海外分会会合④サマーシンポジウム⑤アジア若手技術者・研究者ワークショップ を開催	
	学会の国際活動発信と留学生ネットワーク強化のための電子情報システム事業	国際関連活動を発信。留学生・卒業生の情報を一元管理できる電子情報システムを構築。	
	学会誌	100周年記念記事等、記念行事の紹介	
	全国大会討論会	土木の来し方行く末、技術者のあり方を全国大会で議論する	
	論文・論説コンクール	100周年を機に論文・論説を募集し、土木の来し方行く末、技術者のあり方等を論ずる	
	記念グッズ・切手等	記念グッズの製作、販売	
	ホームページ	幹事会提案(学会英語HPをリニューアル)+応募事業(情報発信機能抜本的拡充強化)を含む	
	土木に関する学会員事業及び市民事業への支援事業	公募の中から選んで実施	
	日本土木史	記念出版	
	土木学会100年史	記念出版	
	土木の日	100周年に向けて毎年100周年関係行事を実施している	
	土木コレクション &インフラ国際協力・国際貢献アーカイブス構築	土木コレクションHANDS+EYESの全国展開 & 政府開発援助などを通じて、日本の土木技術者が貢献し整備されたインフラを、例えば50例、写真や図面など付きで紹介する。地図やガイドブックなどを作成する。	
記念式典	2014年11月に実施		

100 周年事業（案）に関する意見

1. 御意見をお寄せいただく方の御連絡先

氏名	土木 太郎
所属	(株)土木学会特別会社 技術部
電話番号	03-****-****
e-mail アドレス	*****@****.**.**.****

2. **資料 B** に対するご意見がございましたらお書きください（自由記述）

- ・ 100 周年事業では、「お祭り」的要素は廃し、土木の本質を見つめ直して次の 100 年間の行動につながるような意義ある事業をするべきだ。
- ・ 土木学会の会員企業・団体のみならず、土木と関連の深い他業界からも、広告料のような形で資金集めをしてはどうか。
- ・ 活動費用の全部とは言わないが、若干だけでも金銭面の補助があると、活動のモチベーションは上がると思う。
- ・ 100 周年に向けて、全会員がモチベーションを持って事業に取り組めるよう、さまざまな媒体を通じて事業の PR を行ってほしい。

など

100 周年事業のアイデア

1. 御意見をお寄せいただく方の御連絡先

氏名	土木 太郎	所属	(株)土木学会特別会社 技術部
土木学会での立場	〇〇委員会〇〇長		
電話番号	03-*****	e-mail	*****@****.***

2. 資料 B の他に実施するとよい事業のアイデアがございましたらお書きください

(書ける範囲で結構です)

事業名 (仮称)	土木コレクション	
実施主体	土木の日実行委員会、土木コレクション小委員会	
実施する時期	2012 年～2014 年、全国大会・土木の日の時期	
実施する地域	東京及び主要都市	
事業の内容	<p>土木コレクションとは、土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にすることができない全国のコレクションを一般市民の方に解りやすく展示公開し、土木に対する親近感や理解を促すことを目的に行うものです。</p> <p>土木コレクションは 2 つの 카테고리 からなります。1 つは明治期から昭和初期の土木構造物の図面の展示、もう 1 つははっと目が奪われるような未来を見通した新しいコンセプトのプロジェクトの展示です。全国大会が開かれる地区では各地区との協働により事例を収集していますが、100 周年までに全国大会が開かれない地区では別途資料収集を行う必要があります。最終年度には各支部の協力をお願いしながら全国のコレクションの展示とコレクションの書籍出版を行います。</p>	
大まかな予算	約***万円	
予算のうち補助を希望する金額	合計 約***万円 (2012 年度 ○万円、2013 年度○万円、2014 年度○万円)	
このアイデアの提案理由	<p>市民の方々に、全国規模で統一されたデザインにより土木界が保有する貴重な図面や資料、模型を公開展示するという事業は、100 周年のような契機がないと展開できません。また「人」にも焦点を当て、我が国が土木事業に携わる生き生きとした人々によって築かれてきたことを示したいと考えています。</p> <p>このコレクションを通じて、市民の方々に土木事業の奥の深さと幅の広さ、土木事業は心が通った人が行っていること、社会に大きな役割を果たしていること、今後市民のための土木へと展開していることなどを、市民目線で直感的に解りやすく展示します。土木への親近感を深め、土木ファンを増やすことを目的としています。</p>	
確認事項	(1)土木の広い分野を横断するような事業ですか？	多様な分野に渡る施設を対象とした事業です。
	(2)継続性のある事業ですか？	8 支部分揃った時点で一段落つきませんが、コレクションの活用は継続的に可能です。

100 周年事業のアイデア

1. 御意見をお寄せいただく方の御連絡先

氏名	土木 花子	所属	〇〇大学〇〇学部 教授
土木学会での立場	〇〇支部〇〇長		
電話番号	0*.*****.*****	e-mail	*****@****.***.**

2. 資料 B の他に実施するとよい事業のアイデアがございましたらお書きください

(書ける範囲で結構です)

事業名 (仮称)	「どぼくカフェ」の全国展開	
実施主体	国内 8 支部	
実施する時期	2012 年～2014 年、各支部で年複数回	
実施する地域	各支部の主要都市	
事業の内容	<p>一般市民の「土木への気づき」を大テーマとして、また土木側からの情報発信を行うため、土木学会関西支部・FCC では、土木の日関連事業として、平成 22 年度より「どぼくカフェ」を年数回実施しています。「どぼくカフェ」は、様々な話題を土木と関連させ、これらを楽しく議論している様子を、会議室のような閉鎖的な空間ではなく、市民に対してオープンな空間で話題提供をするものであり、開催場所は商店街や駅前空間、役所前など、市民が往来する場所で実施することを目的としています。</p> <p>このイベントを、関西支部のみならず、国内 8 支部で全国展開する事業です。</p>	
大まかな予算	約***万円	
予算のうち補助を希望する金額	合計 約***万円 (2012 年度 〇万円、2013 年度〇万円、2014 年度〇万円)	
このアイデアの提案理由	<p>防災問題など、市民レベルで関心があるテーマはあるものの、それらについて市民が気軽に議論できる機会はほとんどないのが現状です。これについて、学会 (会員) から市民に土木の情報を積極的に発信するのではなく、市民の目に自然に触れるような形で自発的に「土木に気づいて」いただくことで、受動的でない市民の参加が期待でき、土木学会員の活動に対する理解を深めることができます。</p> <p>関西支部で実施されているイベントが好評であることから、全国展開が望ましいと考えました。</p>	
確認事項	(1)土木の広い分野を横断するような事業ですか？	あらゆる土木分野を話題として実施可能な事業です。
	(2)継続性のある事業ですか？	100 周年以後も継続的に実施可能です。

土木学会 100 周年事業に関する意見

1. 御意見をお寄せいただく方の御連絡先

氏名	
所属	
電話番号	
e-mail アドレス	

2. **資料 B** に対するご意見がございましたらお書きください（自由記述）

--

100周年事業のアイデア

1. 御意見をお寄せいただく方の御連絡先

氏名		所属	
土木学会での立場			
電話番号		e-mail	

2. **資料 B**の他に実施するとよい事業のアイデアがございましたらお書きください

(書ける範囲で結構です)

事業名 (仮称)		
実施主体		
実施する時期		
実施する地域		
事業の内容		
大まかな予算		
予算のうち補助を希望する金額	合計 約***万円 (2012年度 ○万円、2013年度○万円、2014年度○万円)	
このアイデアの提案理由		
確認事項	(1)土木の広い分野を横断するような事業ですか？	
	(2)継続性のある事業ですか？	